

深川消防団ニュース



# さきもり

発行 深川消防団  
 所在地 〒135-0042  
 東京都江東区木場  
 3丁目18番地10号  
 深川消防団本部  
 TEL : 03-3642-0119  
 FAX : 03-3641-4422

## 初優勝 バンザイ「第十分団」



### 第37回 深川消防団 消防操法大会



### 操法大会を振り返り



第十分団長  
古田 保広

この度、第三十七回深川消防団消防操法大会において、厳しい戦いに勝ち抜き初優勝を飾ることができました。これも一重に消防署、友の会、町会、自治会の皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

優勝は我が十分団の長年の悲願でもありました。その願いが本年、選手としてサポート団員の頑張りや叶う事ができました。また、小安団長の在任中に優勝できました事は、二重の喜びであります。

我が十分団は少人数であり選手以外の団員が少ない中、日曜日中心に、朝9時より午後3時頃まで暑い中頑張つて操法訓練に励んでまいりました、これも応援してくださる皆様に必ずお答えして参りたいとの強い思いで頑張りました。特に、陰で応援して下さいる団員のご家族皆様には御礼申し上げます。来年は、待望の十分団本部施設が新装になる豊洲出張所内に完成致します。完成を寿ぐためにも来期は、二連覇目指し選手・団員一同、更なる、飛躍を



目指し訓練をし、そして地域防災のかなめとして頑張る所存であります。今後とも、皆様方のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

深川消防団第十分団長 古田 保広  
(第十分団 棚山編集員)

平成二十七年  
深川消防団幹部研修

【期日】6月13・14日  
【幹事第四分団／そなエリア東京他】

去る六月十三日から十四日まで、我が四分団が幹事分団となり、幹部研修旅行が行われ、潮来・佐原の旅に行ってきました。

幹事分団に当たることは、なかなかないのですが、分団長に着任二年目で名誉ある幹事になりました。近場の研修旅行は皆さん行ったことのある所が多く、行程を考えるのに苦労しました。



形屋前団長とお付き合いがある旅行会社に相談しましたところ、「超近場で、そこで研修をして潮来、佐原にしたら？」と言うことで決定しました。

今回は、四分団総勢7名で皆さんのアシストをさせて頂きました。そなエリア研修の後、成田山新勝寺にて、深川消防団、消防署の活躍を祈念して参拝しました。そして成田航空博物館を見学しホテルへ。ホテルの前が菖蒲園なので各自自由散策の後夕食。2日目は、小江戸佐原散策、銚子にて昼食の後消防署に戻ってきました。参加された皆様のご協力に感謝する次第です。本当にありがとうございました。

深川消防団第四分団長 椎名 康夫  
(第四分団 正本編集員)

深川消防団  
「ファミリデー」

【期日】6月21日  
【場所】消防署裏庭

消防団員の家族や

関係者に感謝を込めて

当日は小雨も降るような天候でしたが、終了までは特に開催に支障があるほどにはひどくならず、消防団員のお子さんやご家族は、キュータと触れ合ったり、はしご車体験搭乗や放水体験



などなかなか普段できない体験を満喫することができました。

通常はこういったイベントのお手伝いに専念する消防団員ですが、この日ばかりはご家族の案内などで、いつも威厳のある団本部幹部の皆様も普通のおじいちゃんに戻ったような顔をされていました。

通常勤務の傍ら、このような機会を与えていただき小黒署長をはじめ深川消防署職員や消防団本部の皆様感謝申し上げます。

(第八分団 庄井 編集員)



江東区総合防災訓練

【期日】7月12日  
【場所】東陽小学校・第七・八分団

江東区・町会・自治会  
そして消防団・消防署



今年の江東区総合防災訓練が東陽小学校を会場として900名以上の参加という大きな規模で行われました。

東陽小学校を避難所とする六町会八自治会の町会・自治会の住民の皆さんが8時30分発災の合図とともに避難をはじめ、おおむね九時ごろに各災害協力隊の指定する一時(いっこ)集合場所に集まってから避難を開始し、東陽小学校まで避難します。



東陽小学校まで避難します。その間に初期消火をして延焼を食い止めたり、プロック塀の下敷きになっている人を、みんなで救助したりといった訓練も盛り込まれていました。住民の方々は小学校に避難してから、校庭・体育館・隣接の東陽公園までを会場とし、様々な訓練を体験されました。体育館では実際の災害時さながらに榑田東陽小学校校長を責任者とした関係団体の避難所運営協力本部の模擬会議も開かれました。今回の訓練中、婦人部会の方々の炊き出しや麵類協同組合の「ひやむぎ」も提供され大盛況でした。



【期日/7月25日】  
【場所/消防署裏庭】

### 実践的活動訓練

分団による消防ポンプ操法も披露され、存分に消防団の存在をアピールすることができました。今回のような大規模な訓練成功の裏には事前に何回もの関係団体による打ち合わせがあったとのこと。総合防災訓練案内チラシの防災豆知識でも紹介され、訓練で実践されたことですが、自分の住む地域の

- 1、一時（いつとき） 集合場所
- 2、避難所（東陽小学校のような一時的に生活できる場所）
- 3、避難場所（例：木場公園一帯、猿江恩賜公園一帯など）

以上を再確認しておきましょう。  
（第八分団 庄井 編集員）

### そのときを意識した訓練

深川消防署裏庭にて実践的活動訓練が行われました。東京地方に震度6強の地震が発生し、倒壊家屋や倒壊した塀等の下敷きになった要救助者が多数発生したという想定のもと訓練が行われました。



各分団より三名程度の団員が参加して、実際に地震が起きたときに消防団が行動する流れに沿った訓練で実践を意識したものでした。無線での情報伝達訓練では、出場命令から実際に現場に到着してからの、被害情報の収集と被害現場での倒壊家屋の撤去及び被災者の救助・救護活動



等々、非常に有意義な訓練になったと思います。

チェーンソーで倒壊建物の侵入口を確保し、震災対策セット及び油圧式救助器具を活用しての救出を行った為、救助資機材の使い方についても再確認する良い機会となりました。

（第五分団 圓城寺 編集員）





# 神社「本祭り」消防団員大忙し



◆ 洲崎神社

◆ 富岡八幡宮


消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

<http://www.teisoh.co.jp/> E-mail:info@teisoh.co.jp  
 PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

**TEISOH** 株式会社 帝国倉庫  
 〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1


消防団協力事業所

株式会社 **ムトウユニパック** 

代表取締役 会長 武藤 庄一

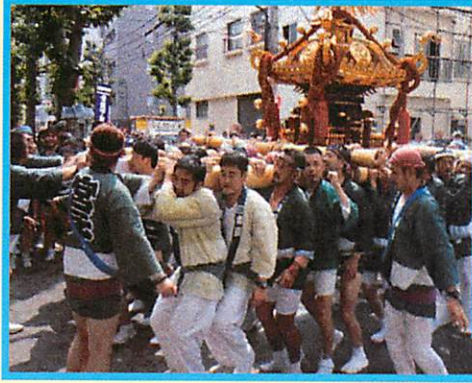
私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。

本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141 (代表)  
<http://www.mutoh-u.co.jp/>  
 支店・出張所 / 城南・東京中央・城西・横浜・千葉・四ッ谷・さいたま  
 栃木・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台

 sheet to leaf.



# 今年は各



◆ 深川神明宮



◆ 宇迦八幡宮



◆ 猿江神社



○ 火の用心



## 消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。



ホテル イースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3  
03-5683-5683 (代表)  
www.hotel-east21.co.jp

## 消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか  
分からない」

弊社の社員も消防団員として活動しています。



江東区富岡 2-1-9 HF 門前仲町ビルディング 4階



**石島にて火災発生  
第二分団が消防隊と連携  
消火活動にあたる**

【期日】7月14日  
【場所】江東区石島



夜があけ、周囲が明るくなる

7月14日(火) 午前三時三十一分。深川消防署より石島において火災発生の通報があり、第二分団に出場要請がありました。私が現場に到着すると木造二階建ての工場兼民家が激しく燃えており周囲の民家四軒にも延焼をする程の勢いでした。火災現場においては署員の方々のホース補助や実際に自分

達も放水をして消火活動を実施しましたが、炎の勢いが激しく、また、屋根がトタン屋根だった為か、放水が火点になかなか届かず、消火作業に手間取ってしまいました。我々は懸命に消火活動を行いました。炎の勢いが収まってきたのは、三時間以上経ってからでした。

それでも消火隊の懸命な消火作業や、小安団長以下、第三・第四・第八各分団員の方々の応援を受けて、どうにか鎮火できました。

解散(わかれ)がかかったのは、十一時三十分になってからでした。

大変に暑い中、懸命に消火活動にあたりましたが、残念な事に、死傷者が出てしまいました。

団員一同改めて防火の大切さと火災の恐ろしさ、生命の大切さを感じながら団員それぞれ戻りました。

(第二分団 佐竹副分団長)  
(第二分団 平林 編集員)



**防災・救急  
関係ニュース**

活動模様について、  
タイトルと写真で紹介します。

8月30日(日) 木場公園多目的広場  
江東区総合防災訓練

消火活動

(倒壊建物が延焼中、消火活動を実施  
第5分団・第8分団)



消火活動(避難路確保の一斉放水)



団長講評





9月6日(日) 防災・救急フェア



消防団員19名が救急指導。

アーバンドックららぽーと豊洲  
キュータ君 (着ぐるみの中は宇田川団員/2分団)



9月13日(日)

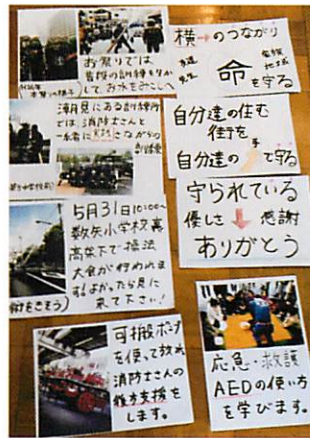
東陽小学校PTA応急救護訓練

5月29日(金)  
第九分団岩淵初美団員が越中島小学校にて「消防団活動について紹介」



第九分団の岩淵団員は越中島小学校でゲストティーチャーとして授業を行いました。

ママさん団員ならではの苦勞話し、大変さを交えながら、地域の防災リーダーとしての消防団の活動を紹介しました。そして「自分たちの町は、自分たちで守る」というテーマを熱く語り、生徒さんたちの関心を一身にひきつけていました。岩淵団員、大変お疲れ様でした。



深川消防団夏季幹部懇親会

【期日】8月25日

【東天紅】

恒例の深川消防団友の会・団幹部夏季親睦会が門前仲町の東天紅にて開催されました。小黒消防署長をはじめ多くの関係者が集まり、和気あいあいと

した時間を過しました。特にこの夏、熱中症患者の搬送や火災が多かったこと、管内各地の祭りでの警戒・放水訓練、9月に東京都全世帯に配布される防災ブック「東京防災」のことなどに話題が集中していました。



山下前副団長「叙勲」祝賀会

【期日】9月14日(月)

【ホテルイースト21東京】

山下勝義前副団長の瑞宝単光章受章を祝う会がホテルイースト21永代の間にて開催されました。

山下勝義氏は深川消防団退団後も長年における消防団での経験を生かし、



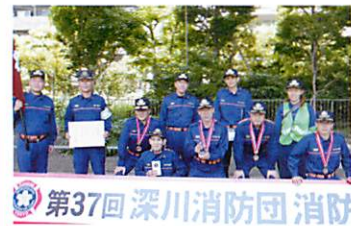


元 深川消防団副団長 山下勝義氏の叙勲を祝う会

東陽5丁目東町会長として精力的に防火防災活動に尽力されています。同町会は今年4月に「東京防災隣組」に認定され、また、この10月25日には東京都庁において町会での防災活動の事例報告を発表される予定になっています。

山下氏は謝辞の中で、消防団活動の節目節目において地域の防火・防災への思いを強くされていったとのこと。またその活動を支えてくれた周囲の方々へ、特に奥様への感謝の言葉を述べられました。

このようにどのような場面、立場でも地域活動と防災、住民への思いを継続される力をお持ちの山下氏を我々消防団員もお手本にしたいと思います。



第三位 第九分団



準優勝 第二分団



指揮者 第十分団 前田 康宏



1番員 第九分団 若狭 和也



2番員 第七分団 巽 紳太郎



3番員 第二分団 菊地 常美



機関員 第五分団 関 篤史

優秀個人賞

防災ブック「東京防災」について

東京都総務局が作成して平成27年9月から都内全世帯(約700万世帯)及び各学校へ配布される防災読本です。作成については東京消防庁も協力しています。各家庭において首都直下地震等に対する備えが万全となるよう、地震時の対応や正確な災害情報の入手方法など防災全般に係るイラストを多用してわかりやすく記載されています。日常的に活用でき、「防災意識の啓発」「行動と備えに結び付ける」ための手引書となります。



表彰者の紹介 操法大会以降の

叙勲(瑞宝章)五月十四日 元副団長 山下 勝義

消防活動功労表彰 第七消防方面本部長表彰 第二分団(浅野分団長)



石島における火災にて、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮し消防隊と連携して、積極果敢な消火活動を行い周閉建物への延焼阻止を図るなど被害を最小限に止めた功労

消防署の指導者紹介

- 毎日勤務
  - 川部 課長 小坂 防災安全係長
  - 伊藤 主任 横澤 係員
- 一部当番
  - 佐々木 主任 坂大 副主任
  - 古 谷 士長
- 二部当番
  - 板井 係員
- 三部当番
  - 内田 主任 玉那覇 係員

退団者(病气死亡) 第五分団 副分団長 平出 裕一郎 病气療養中でしたが、九月六日(一)逝去されました。ここに謹んで、冥福を申し上げます

さきもり編集委員

分団名	任 務	階 級	氏 名
団本部	監 修	団 長	小安 勤
団本部	編集委員長	副団長	岡本 繁
団本部	編集責任者	分団長	椎名 貞雄
一分団	編集補佐	副分団長	長谷川 祐二
一分団	委 員	團 員	宮島 慎一
二分団	委 員	班 長	平林 忠之
三分団	委 員	團 員	中島 紗江子
四分団	委 員	班 長	正本 光生
五分団	委 員	團 員	圓城寺 正和
六分団	委 員	班 長	高野 俊勝
七分団	委 員	班 長	武藤 壽子
八分団	委 員	班 長	庄井 勤
九分団	委 員	團 員	岩淵 初美
十分団	委 員	團 員	榎山 美恵子

編集後期

私は「編集員一年生」です。今年も地震・台風・竜巻などの被害が多く起りましたが、地域の町会、自治会で行う避難訓練はこれらの事を踏まえる事が大切ではないでしょうか。まだ参加されていない方、参加された方も繰り返し訓練をして災害時に備えて下さい。

自助・共助・公助のもと、「速やかに避難経路を確保する」我々消防団員としても再認識しましょう。まずは、訓練に参加してみたいかがでしょうか。第六分団高野俊勝